

## EUの柑橘類事情(オレンジ、オレンジ果汁)

米国農務省GAINレポート 2024年6月18日

これは米国農務省海外農業局のマドリッド事務所(スペイン)が作成した「柑橘類半期報告書」のエグゼクティブサマリー及びオレンジとオレンジ果汁の項(他の品目は生産需給統計表のみ)を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

## 要約

2023/24年度のEUのオレンジとマンダリンの生産量の減少は、レモンとグレープフルーツの生産量の増加を上回った。EUの柑橘類生産は地中海地域に集中している。スペインとイタリアがEUの主要な柑橘類生産国であり、ギリシャ、ポルトガル、キプロスがそれに続く。

EUは、輸入が輸出を大幅に上回る柑橘類の純輸入者である。貿易の大部分は、EU域内の生産国と非生産国の間で行われる。アジアルート経由の貿易がますます困難になる中、地中海沿岸のEU近隣の柑橘類生産国(エジプト、トルコ等)は、EUへの輸出に力を入れている。このことは、北半球の柑橘類の出荷シーズンと重なり、この地域での競争が激化する販売年度(10月～)の前半に特に当てはまる。2023/24年度のEUの柑橘類輸出は、主にEU域外のヨーロッパ諸国向けに集中しており、わずかに減少すると予測される。

コロナ禍中に記録的な量を達成した生鮮柑橘類の消費量は、コロナ禍前の水準に戻ると見込まれる。2023/24年度は、温暖な冬の天候により柑橘類の消費が妨げられた。さらに、一部の消費者がインフレに対応するため支出を精査して果実の消費を減らしたことや、熱帯果実等の非柑橘系果実を選択する傾向を強めたことから、消費は減少傾向にある。EUにおける柑橘類の加工仕向量は消費量のごく一部にすぎないが、柑橘類加工品の新しい市場が生まれるにつれて拡大すると予想される。

## &lt;オレンジ&gt;

表1 EUの生鮮オレンジの生産需給統計

オレンジ(生鮮) 販売年度の始まり	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年10月		2022年10月		2023年10月	
欧州連合(EU)	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	283,872	283,872	285,348	285,348	285,147	286,863
収穫面積(ヘクタール)	261,440	261,440	264,632	264,632	236,305	265,831
結果樹本数(千本)						
未結果樹本数(千本)						
合計果樹本数(千本)						
生産量(千トン)	6,728	6,728	5,564	5,580	5,475	5,475
輸入量(千トン)	736	735	1,043	1,047	1,000	1,090
総供給量(千トン)	7,464	7,463	6,607	6,627	6,475	6,565
輸出量(千トン)	403	403	343	343	340	300
生鮮域内消費量(千トン)	5,950	5,950	5,640	5,660	5,525	5,625
加工仕向量(千トン)	1,111	1,110	624	624	610	640
総仕向量(千トン)	7,464	7,463	6,607	6,627	6,475	6,565

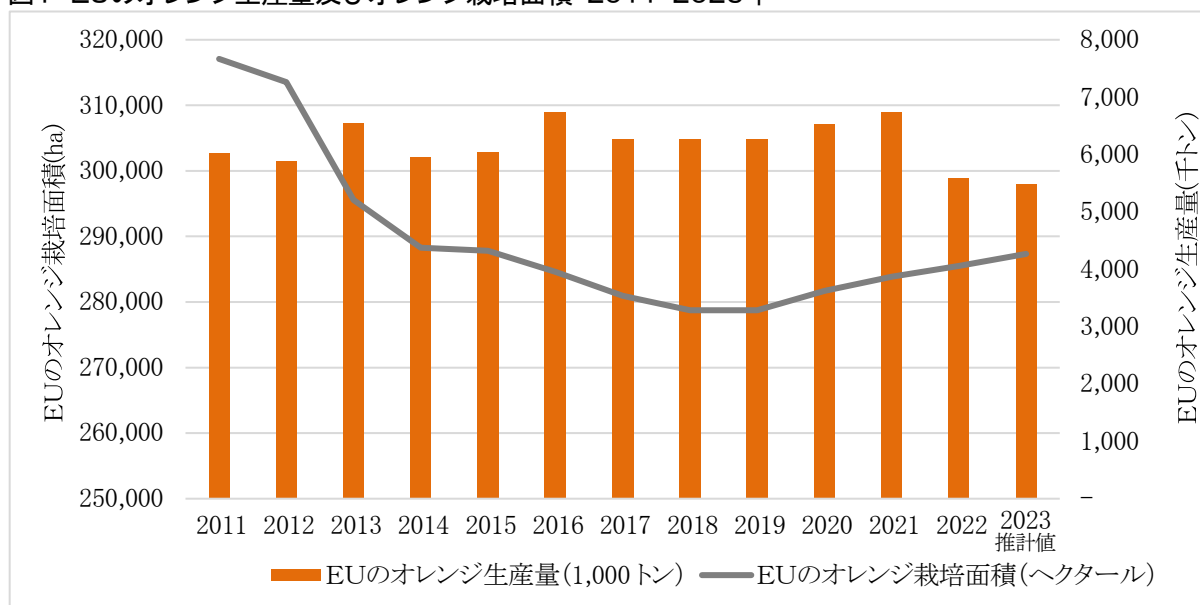
これは米国農務省の公式データではない。

出典: 2021/22年度及び2022/23年度の貿易量は Trade Data Monitor, LLC (TDM)、その他は海外農業局EU各事務所

2023/24年度のEUのオレンジ生産量は、すでに少なかった2022/23年度からさらに微減となる540万トン強と予測される。オレンジの出荷量はEU域内で生産される柑橘類の中で最大であり、スペインがEUの生産量の50%を占めている。着果期の過度の雨、干ばつと高い気温及び灌漑の制限が、果実のサイズに悪影響を及ぼし、収量が減少した。スペイン及びそれより程度は少ないもののギリシャとポルトガルで生産性が低下し、イタリアの生産量の増加はそれを補うには十分でなかった。

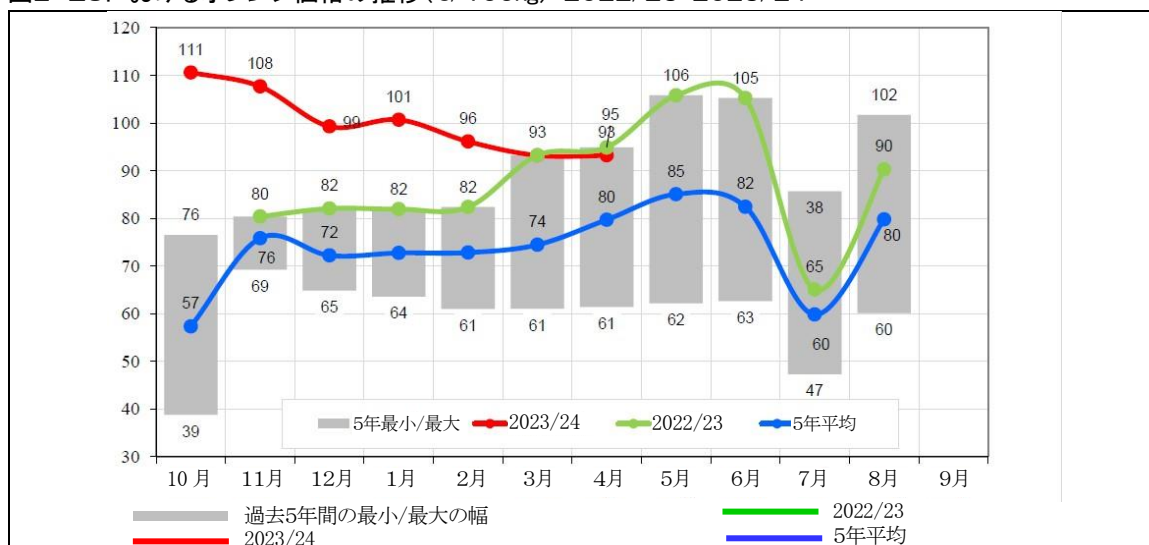
[EU Citrus Dashboard](#)によると、2023/24年度のオレンジ価格は、2022/23年度よりも高い水準で始まり、それは2024年2月まで続いた。しかし、2024年3月以降は、EUのオレンジ価格は下方修正され、前年度を下回る水準となった。

図1 EUのオレンジ生産量及びオレンジ栽培面積 2011-2023年



出典: 海外農業局EU各事務所

図2 EUにおけるオレンジ価格の推移(€/100kg) 2022/23-2023/24



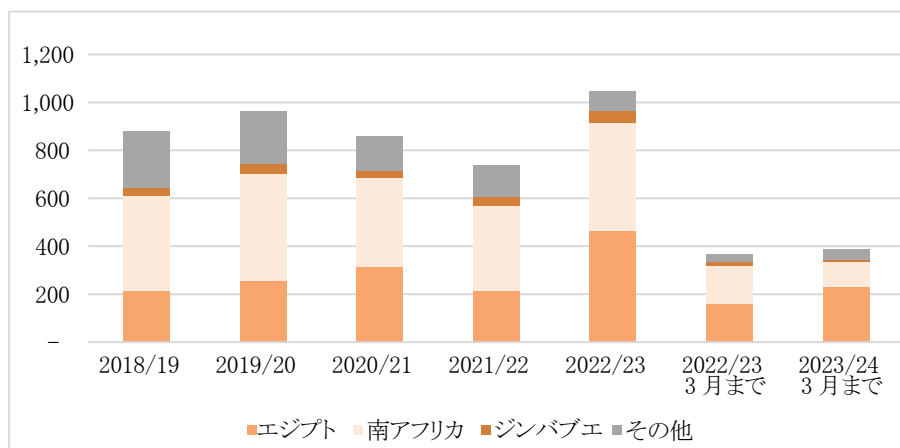
出典: DGAGRI Dashboard: Citrus Fruit.

2023/24年度の生鮮オレンジの消費量は、EU域内における2年連続の不作に伴う価格の上昇と消費者嗜好の変化の両方により、昨シーズンに比べて減少すると予想される。逆に、2023/24年度の加工仕向量は、商業的に販売できないサイズのオレンジが比較的入手しやすいことを考慮して上方修正した。詳細については、以下の「[オレンジ果汁](#)」の項を参照されたい。

2023/24年度には、域内の生産の減少を補うため、最終的には生鮮消費と加工用の両方で、より多くのオレンジがEUに輸入されると予想される。主な輸入先国は、EUの収穫期と重なるエジプトと、オフシーズンの南アフリカ及びジンバブエである。

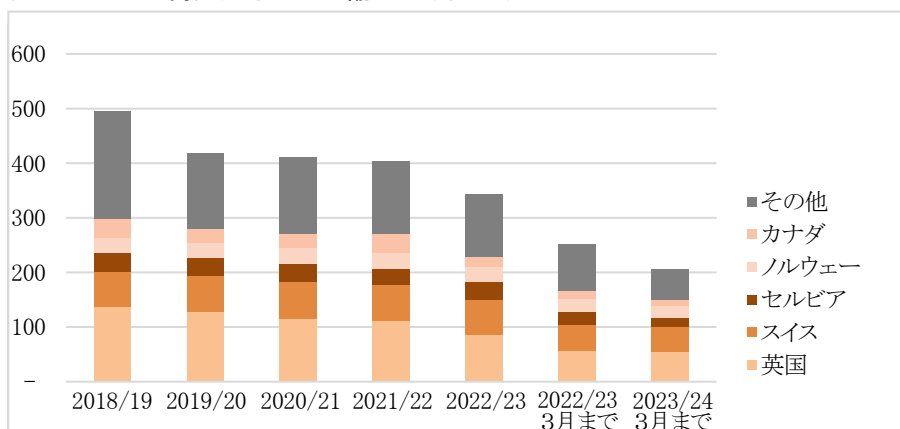
2023/24年度には域内のオレンジを入手しにくく、地中海沿岸の他のオレンジ生産国 - 従来のEUからの輸出市場をアジア向け輸出ルートに代わる堅実な選択肢と見ている - との競争が激化していることから、EUのオレンジ輸出は減少すると予測される。主としてスペインから輸出されるEU産オレンジの主要輸出先は、英国、スイス、セルビア、ノルウェー、カナダ等である。

図3 EUの原産国別オレンジ輸入量(千トン)



出典: Trade Data Monitor, LLC のデータに基づき当事務所が作成

図4 EUの出荷先別オレンジ輸出量(千トン)



出典: Trade Data Monitor, LLC のデータに基づき当事務所が作成

<オレンジ果汁>

表2 EUのオレンジ果汁(ブリックス値 65)の生産需給統計

オレンジ果汁 販売年度の始まり 欧州連合(EU)	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年10月		2022年10月		2023年10月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
原料の加工仕向け量(トン)	1,111,000	1,111,000	624,000	624,000	910,000	640,000
期初在庫量(トン)	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
製造量(トン)	86,127	86,127	48,374	48,374	47,288	49,614
輸入量(トン)	566,745	566,745	525,090	525,090	508,000	528,000
総供給量(トン)	667,872	667,872	588,464	588,464	570,288	592,614
輸出量(トン)	111,848	111,848	110,798	110,798	95,000	116,000
域内消費量(トン)	541,024	541,024	462,666	462,666	460,288	461,614
期末在庫量(トン)	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
総仕向け量(トン)	667,872	667,872	588,464	588,464	570,288	592,614

これは米国農務省の公式データではない。

出典: 2021/22年度及び2022/23年度の貿易量は Trade Data Monitor, LLC (TDM)、その他は海外農業局EU各事務所

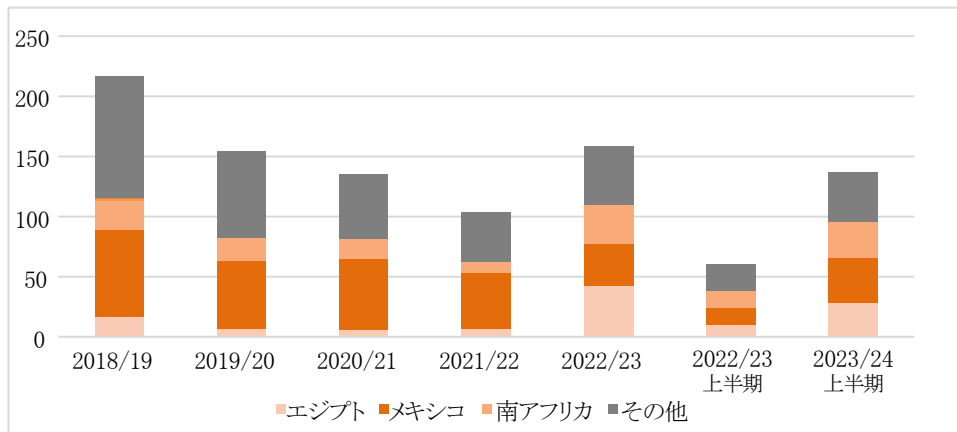
生鮮消費用のサイズ基準を満たしていないオレンジの割合が多く、オレンジの輸入量もやや多いため、2023/24年度の域内のオレンジ果汁製造量は微増の4,960万トンと予測される。

オレンジ果汁価格の世界的な高騰にもかかわらず、入手可能なデータに基づき、2023/24年度上半期のEUのオレンジ果汁輸入を輸入量と輸入額の両面で2022/23年度の水準から上方修正した。一部の業界関係者は、消費者が支払う小売価格への影響を和らげるため、オレンジ果汁を他の柑橘類と混合する選択肢を模索している。ブラジル<sup>1</sup>に次いでEUへの第2位の供給国であるエジプトからのオレンジ果汁輸入は数量的に最大の増加を記録し、一方メキシコからの輸入は金額的に大幅に増加した。

2023/24年度上半期の入手可能なデータは、EUのオレンジ果汁輸出も増加していることを示しており、そのほとんどが英国向けで、英国は依然としてEU産オレンジ果汁の突出して最大の輸出先である。

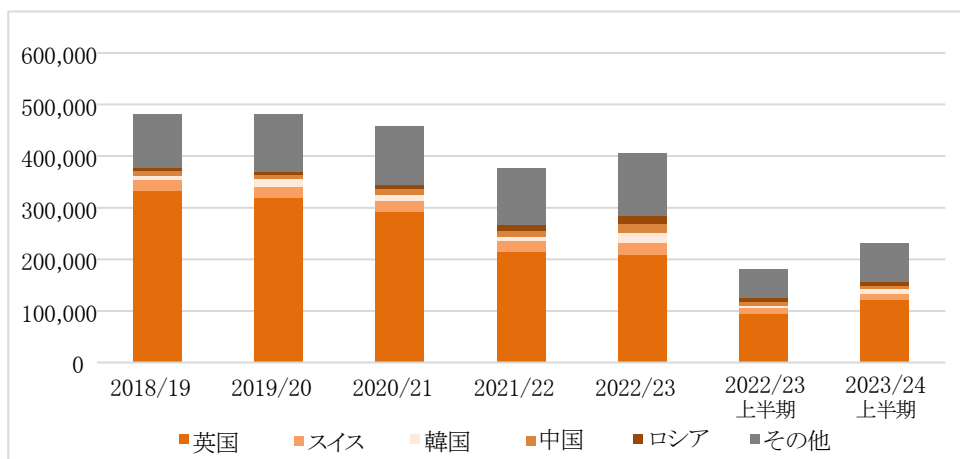
2023/24年度のオレンジ果汁の消費量は、価格の上昇により価格に敏感な消費者が摂取量を減らしたり、より手頃な価格の代替飲料や他の果汁を選択したりしているため、前シーズンと比較してわずかに下方修正した。

図5 EUのオレンジ果汁輸入額(ブラジルを除く)原産地別(百万米ドル、ブリックス値 65)



出典: Trade Data Monitor, LLC のデータに基づき当事務所が作成

図6 EUのオレンジ果汁輸出額 仕向先別(百万米ドル、ブリックス値 65)



出典: Trade Data Monitor, LLC のデータに基づき当事務所が作成

<sup>1</sup> ブラジルはEUのオレンジ果汁輸入の平均90%を占める。

<タンジェリン/マンダリン>

表3 EUのタンジェリン/マンダリンの生産需給統計

タンジェリン/マンダリン(生鮮)	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年10月		2022年10月		2023年10月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
販売年度の始まり						
欧州連合(EU)						
栽培面積(ヘクタール)	150,200	150,200	146,120	146,120	142,033	142,000
収穫面積(ヘクタール)	137,785	137,785	136,458	136,458	132,595	132,485
結果樹本数(千本)						
未結果樹本数(千本)						
合計果樹本数(千本)						
生産量(千トン)	3,190	3,190	2,820	2,947	2,675	2,650
輸入量(千トン)	430	430	482	482	480	470
総供給量(千トン)	3,620	3,620	3,302	3,429	3,155	3,120
輸出量(千トン)	322	322	297	296	225	295
生鮮域内消費量(千トン)	3,051	3,051	2,785	2,913	2,720	2,575
加工仕向量(千トン)	247	247	220	220	210	250
総仕向量(千トン)	3,620	3,620	3,302	3,429	3,155	3,120

これは米国農務省の公式データではない。

出典：2021/22年度及び2022/23年度の貿易量は Trade Data Monitor, LLC (TDM)、その他は海外農業局EU各事務所

<レモン/ライム>

表4 EUのレモン/ライムの生産需給統計

レモン/ライム(生鮮)	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年10月		2022年10月		2023年10月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
販売年度の始まり						
欧州連合(EU)						
栽培面積(ヘクタール)	86,466	86,466	87,838	87,838	89,371	89,043
収穫面積(ヘクタール)	74,174	74,174	77,192	77,192	78,841	78,539
結果樹本数(千本)						
未結果樹本数(千本)						
合計果樹本数(千本)						
生産量(千トン)	1,635	1,635	1,458	1,453	1,685	1,673
輸入量(千トン)	630	630	581	581	550	600
総供給量(千トン)	2,265	2,265	2,039	2,034	2,235	2,273
輸出量(千トン)	144	142	122	122	180	140
生鮮域内消費量(千トン)	1,830	1,830	1,650	1,650	1,790	1,780
加工仕向量(千トン)	291	293	267	262	265	353
総仕向量(千トン)	2,265	2,265	2,039	2,034	2,235	2,273

これは米国農務省の公式データではない。

出典：2021/22年度及び2022/23年度の貿易量は Trade Data Monitor, LLC (TDM)、その他は海外農業局EU各事務所

<グレープフルーツ>

表5 EUのグレープフルーツの生産需給統計

グレープフルーツ(生鮮)	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年10月		2022年10月		2023年10月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
販売年度の始まり						
欧州連合(EU)						
栽培面積(ヘクタール)	3,791	3,791	4,203	4,230	4,610	4,614
収穫面積(ヘクタール)	3,191	3,191	3,323	3,323	3,729	3,735
結果樹本数(千本)						
未結果樹本数(千本)						
合計果樹本数(千本)						
生産量(千トン)	106	106	98	98	104	108
輸入量(千トン)	223	224	209	209	200	210
総供給量(千トン)	329	330	307	307	304	318
輸出量(千トン)	17	17	20	20	25	20
生鮮域内消費量(千トン)	299	300	276	276	267	284
加工仕向量(千トン)	13	13	11	11	12	14
総仕向量(千トン)	329	330	307	307	304	318

これは米国農務省の公式データではない。

出典：2021/22年度及び2022/23年度の貿易量は Trade Data Monitor, LLC (TDM)、その他は海外農業局EU各事務所